

王子ホールディングス 「中期経営計画2027」がもたらす 知財戦略の変化予測



Gemini Deep Research

2025年5月

 知的財産分析レポート

エグゼクティブサマリー

レポートの概要と目的

- 王子HD「中期経営計画2027」発表を受けた知的財産戦略変化の分析・予測
- 戦略目標達成に向けた知財戦略の重要性増大
- IP戦略変革が経営目標実現の鍵となる

現状の知財戦略

- 知的財産部による中央集権的な管理体制
- 国内特許中心のポートフォリオ構成
(国内2,772件、海外978件)
- 特許と営業秘密の戦略的使い分け

MTP2027による戦略転換

- 「成長」から「進化」へのシフト
- 営業利益1,200億円、ROE 8.0%の野心的目標
- 木質バイオマス企業への変革
- 3年間で研究開発費500億円、成長投資2,700億円

予測される4つのIP戦略シナリオ

- バイオマス・機能材分野における攻勢的IP戦略
- グローバルIPフットプリントの戦略的拡大と執行
- オープンイノベーションと協調的IPモデル活用
- プロセス革新における営業秘密重視の強化

王子ホールディングスの現在の知的財産状況

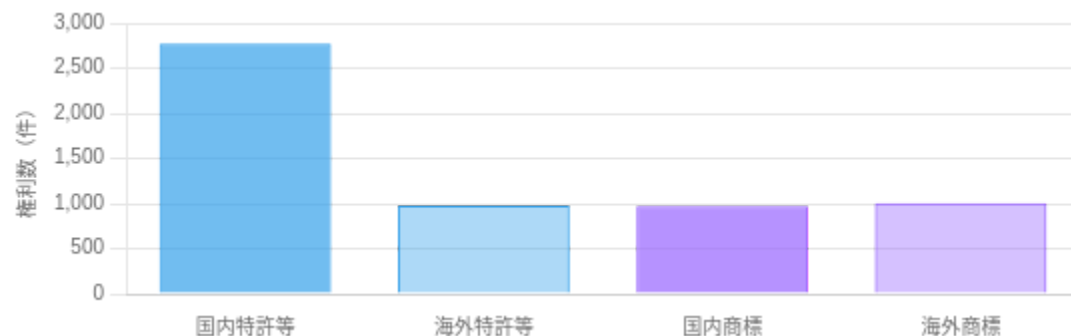
IPガバナンス体制

- ✓ 本社知的財産部によるグループ全体の一元管理
- ✓ 中央集権的な管理体制
- ✓ 多様な専門家（法律知識・リーガルテック活用）
- ✓ 集中保有・管理とグループ会社へのライセンス供与

IP活動の特徴

- ＞ 出願・権利化、調査、契約、渉外、商標、意匠など多岐にわたる活動
- ＞ IPランドスケープ分析活用による戦略立案
- ＞ 目標：「事業戦略に直結した知的財産の戦略的活用」
- ＞ IPを「重要な経営資源」「事業競争力の源泉」と位置づけ

IPポートフォリオ構成（2023年度末）



特許と営業秘密の戦略的使い分け

特許による保護

- ・競合への牽制
- ・模倣確認が容易な技術
- ・公知化による優位性確立

営業秘密による保護

- ・製造プロセスの詳細
- ・独自ノウハウ
- ・リバースエンジニアリング困難技術

重要技術は技術内容や競争力に基づき保護方法を戦略的に判断

中期経営計画2027の概要

財務目標（2028年3月期）

1,200億円

連結営業利益

8.0%

ROE

10%

将来目標ROE

50%

配当性向



木質バイオマス企業への変革

- ✓ 木質バイオマスを原料とした高付加価値製品の開発
- ✓ CNF（セルロースナノファイバー）技術を活用した新素材
- ✓ バイオリファイナリー技術の強化



サステナブルパッケージ・機能材強化

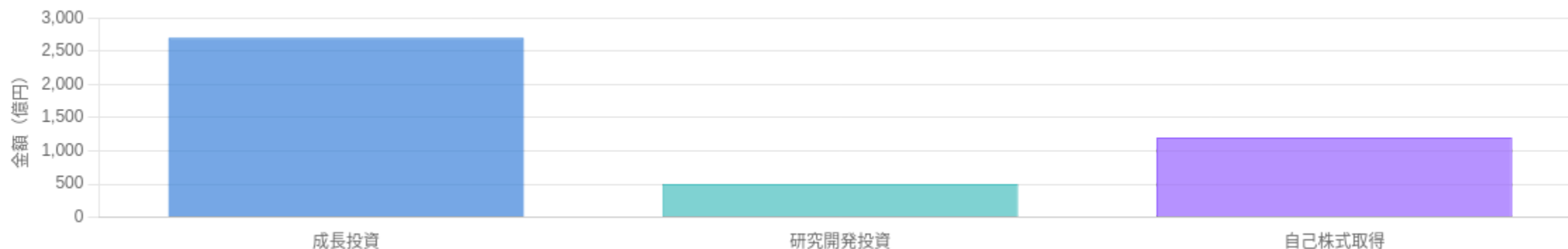
- ✓ 環境配慮型の紙ベース包装材の開発
- ✓ プラスチック代替製品のラインアップ拡充
- ✓ 高機能・環境対応製品の継続開発



グローバル展開の加速

- ✓ インド・東南アジア市場での成長加速
- ✓ 欧州市場展開の強化
- ✓ 現地ネットワーク・パートナーシップの拡大

3年間（2025-2027年度）の投資計画



営業キャッシュフロー創出目標：5,000億円（3年間）

知財戦略の変化予測（シナリオ1・2）



シナリオ1 バイオマス・機能材分野における攻勢的IP戦略



目的

新規成長エンジンの技術的優位性を確立・維持し、競合に対する参入障壁を構築する

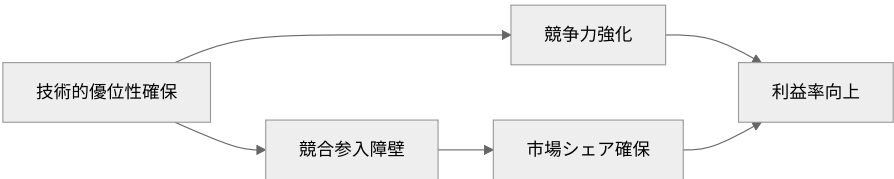


具体的な施策

- 木質バイオマス変換・CNF複合材などの重点領域で積極の特許出願
- IPランドスケープ分析を活用した戦略的出願
- コア技術について戦略的な営業秘密化の判断
- 必要に応じた積極的な権利行使



期待される効果



シナリオ2 グローバルIPフットプリントの戦略的拡大と執行



目的

海外市場（特にアジア、欧州）での権利保護とブランド構築を強化し、グローバル展開をIP面からサポート

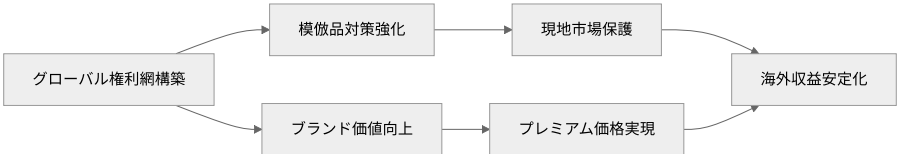


具体的な施策

- インド・東南アジア・欧州での特許・商標出願の戦略的拡大
- 海外での権利侵害監視体制と権利行使能力の強化
- 地域特性に応じたブランド戦略の構築
- 現地法制度への対応力強化と現地パートナーとの連携



期待される効果



知財戦略の変化予測（シナリオ3・4）



シナリオ3 オープンイノベーションと協調的IPモデルの活用

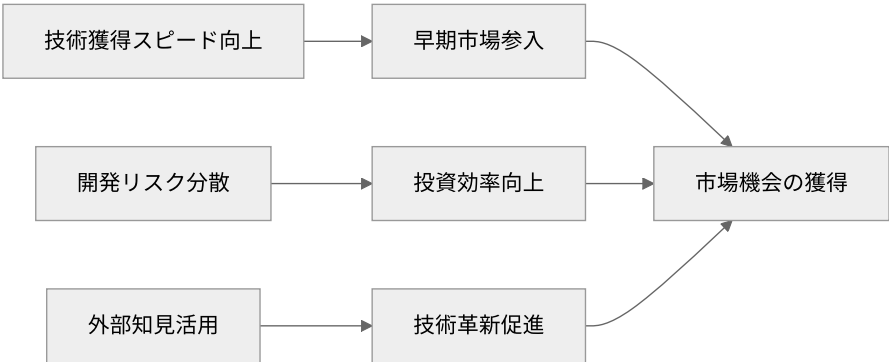
目的

新技術分野への迅速な参入とリスク分散のための戦略的提携とIP共有モデルの構築

具体的な施策

- ✔ スタートアップ・大学・研究機関とのパートナーシップ拡大
- ✔ 戦略的ジョイントベンチャー・ライセンスイン活用
- ✔ 協業契約におけるIP条項設計の高度化
- ✔ オープンプラットフォーム貢献のための特定IPの戦略的公開

期待される効果



シナリオ4 プロセス革新における営業秘密重視の強化

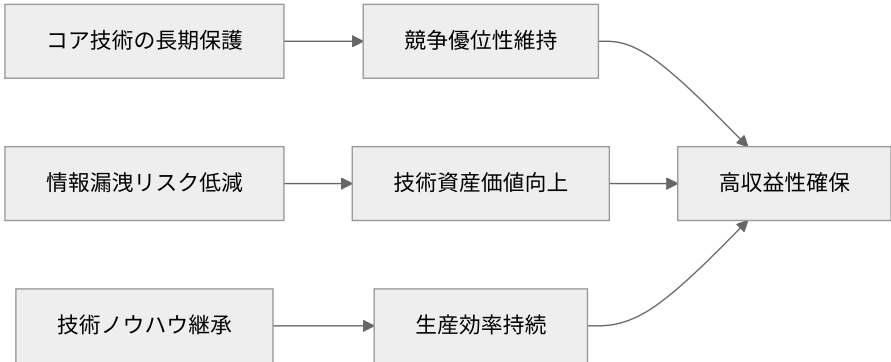
目的

模倣困難な製造プロセスにおける競争優位性を長期的に確保するためのノウハウ管理強化

具体的な施策

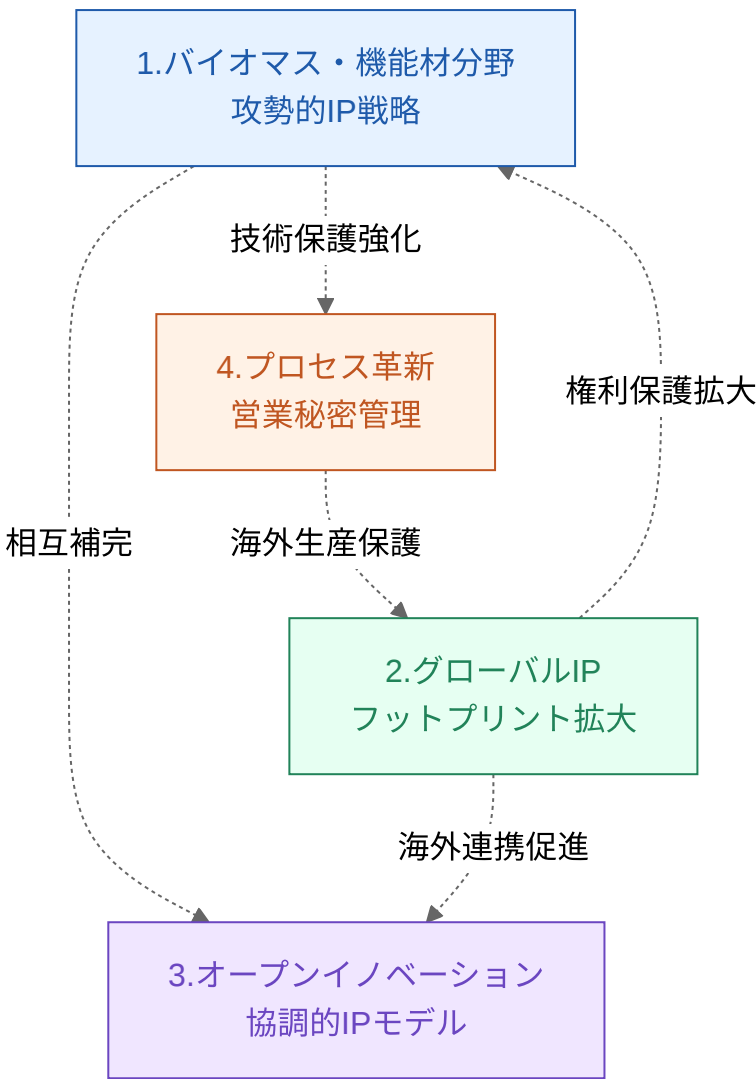
- ✔ 重要プロセス技術の特許出願/秘匿化の厳格な判断基準確立
- ✔ 社内情報セキュリティ投資の強化
- ✔ AIを活用した製造ノウハウのデジタル保存・継承体制構築
- ✔ 取引先との秘密保持管理体制の高度化

期待される効果



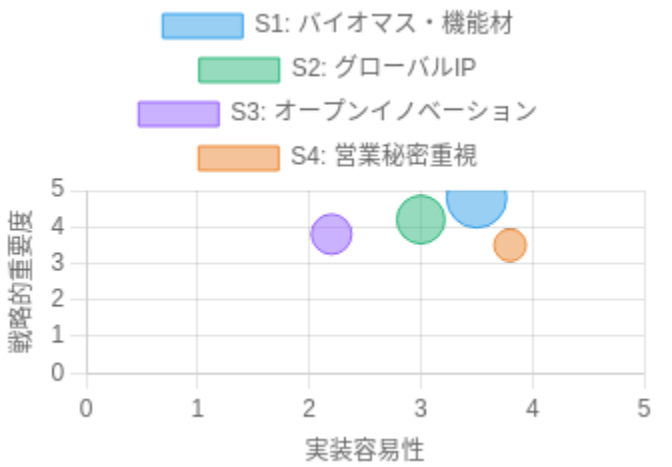
知財戦略シナリオの関連性と実装に関する考察

シナリオ関係性と組み合わせ活用



各シナリオは独立したものではなく、戦略的に組み合わせることでより高い効果を発揮する

シナリオ優先順位



導入時の課題とリスク対策

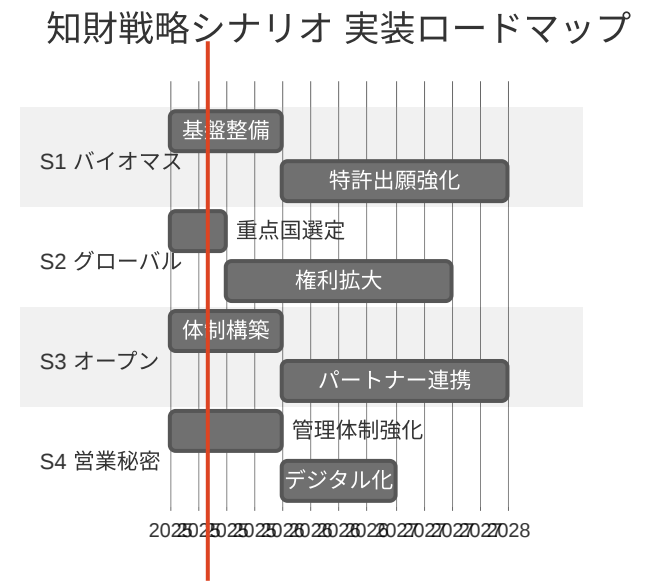
シナリオ	主な課題・リスク	対策
S1	専門人材不足	外部専門家活用・中途採用強化
S2	現地法制度対応コスト増	地域グループ化と現地パートナー連携
S3	情報漏洩・権利帰属問題	契約専門部隊設置・ガイドライン整備
S4	退職者情報流出・技術伝承	デジタル秘密管理とAI活用技術継承

事業分野別適用可能性

事業分野	S1 バイオマス・機能材	S2 グローバルIP	S3 オープンイノベ	S4 営業秘密重視
木質バイオマス	◎	○	◎	○
サステナブルパッケージ	◎	◎	○	△
機能材	◎	○	△	◎
海外事業	△	◎	○	○

◎：最適 ○：有効 △：部分適用

段階的実装アプローチ



結論と戦略的考察

MTP2027の成功には 戦略的かつ積極的な知財投資が不可欠



知財戦略の進化

知財部門が単なる支援機能から、
中核的な経営ドライバーへと
進化する必要がある



戦略的統合

経営戦略と知財戦略の高度な統合が
持続的な競争優位性を
生み出す源泉となる



知財投資の加速

研究開発費の増加に合わせ、
知財予算も戦略的に増強し
リターンを最大化する

実行に向けた戦略的提言



研究開発重点分野へのIPリソース配分最適化
戦略的優先順位に基づく出願・権利維持体制再構築



オープン/クローズ戦略の最適なバランス構築
技術分野ごとの戦略的知財活用方針の明確化



グローバル知財体制の構築
インド・東南アジア市場に特化した知財専門人材の配置



バイオ・化学分野の知財専門性強化
新規領域における専門人材の採用と育成プログラム開発

「中期経営計画2027」の財務目標達成には
知的財産戦略の転換と進化が不可欠である